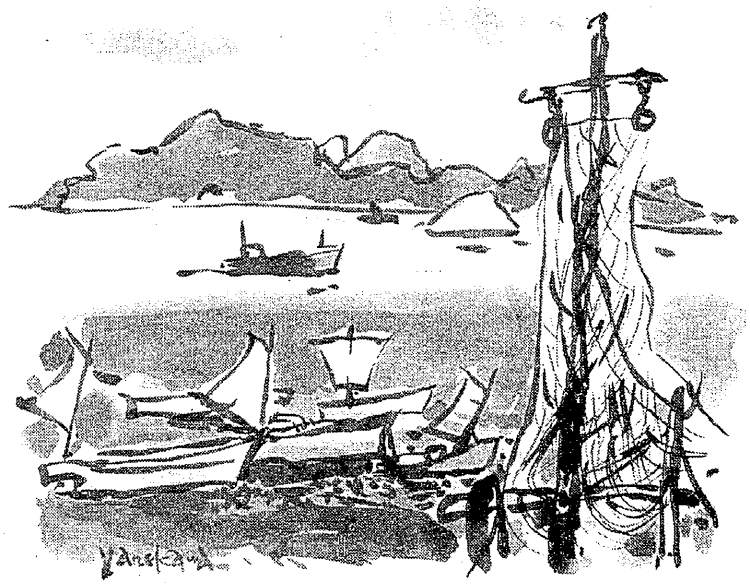
海と船と港



四国第一の都市、松山市の高浜港からフェリーボートで十分。興居島を含む忽那（くつな）七島とよばれる風光明美な諸島が海上に浮んでいる。

瀬戸内海

画　姉川良男

姿見

待合室で

西ブロック　椛島　佐和子

この原稿が〝みいけ〟にのるころは、もう衆参同日選挙も終わっていると思います。

私たちにとって、政府の考える軍事費の大幅アップや教育、福祉の切り捨て、さらに老人医療費のアップなど、多くの問題が山ほどあります。

私の家にはお婆ちゃんがいます。医療費の負担増などもってのほかです。子供の教育費も年々増える一方で、毎月毎月が赤字の状態です。

主人の話によりますと、第八次石炭政策による国内の炭鉱の切り捨てがすすめられて、賃上げ交渉も秋までおあずけ。また、夏の期末手当もあてにならないといいますし、このままではこの先どうなるのかと心配でたまりません。

そのためにも、本当に私たちのことを考え、頼りになる革新政党の躍進なしには、私たちの希望する豊かな暮らしにはほど遠いものになってしまいます。

さて先日、ある病院の待合室でのことです。

私の前に座っていた老人が、自分の着ているトレーニングウエアの上着のファスナーを、何回も何回も締めようとしているのですが、なかなかファスナーがはまらないのです。私はいらいらしながら見ていました。

その老人は、リハビリに通院しておられるようで、手が自由にならないようです。

私は、手をかしてあげようかなと思ったのですが、〝ちょっと待て〟ここで手助けをしてあげたら、かえって老人のためにならないと思い直したのです。何度かしているうちにファスナーがやっとはまり、私もほっとしました。

ほんのちょっとした出来事でしたが、やはりそれなりの気配りがいるのだと思いました。

私の家ではお婆ちゃんが病気で入院していますが、医療費を心配せずに一日も早く快方に向かってほしいと心から願っています。

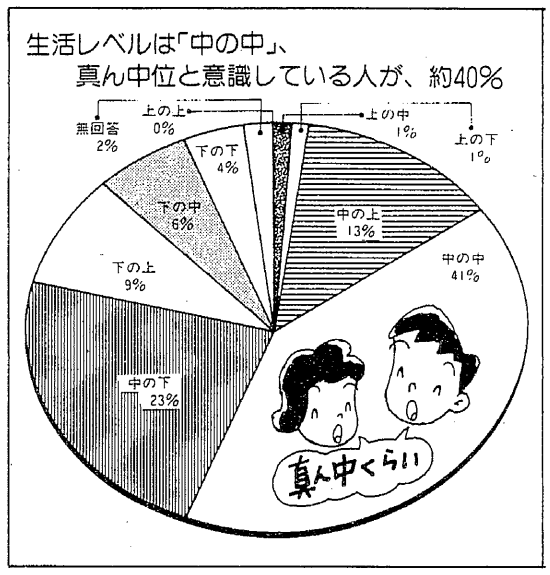
× ×

国民は労組に何をみたか

怪しい政府の〝中流意識〟

これは生活レベルに関する調査。「中の中」と答えた人が四一%、「中の上」「中の下」を合わせると八〇%近くになる。政府の調査では九割が中流意識を持っているというが、中の中から中の下が圧倒的に多い。ステータスとして〝中流〟と答えていても、実際にはかなり厳しい生活をおくっていることがうかがえる。（国民意識調査より）

（〝一億中流〟の世の中だが、むかし、中流の武士は百二十石以上とっていた。キロ当たり五百円として年収九百万円以上になるが、いったいあなたの収入は？）



くらしの歳時記

皮膚を守ろう

神山恵三

庭の草いじり、日曜大工などで、日頃なれない家庭サービスをする機会がこれから増えてくる。ところが、そんな仕事のあとに、よく皮膚のかぶれを起こすことがある。

草の葉から分泌される物質や、大工仕事におけるいろいろの塗料などが皮膚に吸着され、それがもとになって、皮膚の過敏症をおこすもとになる。もちろん、その他になんといっても太陽からの日射しが強くなり、紫外線量も多いこと、暑さのために肝臓の働きがにぶっていること、汗によって皮膚面が不潔になっていること、今まで余り外に出なかった皮膚面が、夏が進むにつれて多く露出されるようになってきたこと等々が、その他の原因として考えられよう。

造園家やしごと師が手甲、脚絆で暑いにもかかわらず身をかためているのも、単に、体が動き易いからというばかりでなく、草かぶれや、外界のいろいろな刺激性の粉末類が皮膚につかないように保護してくれているということもある。それは、また、直接日光中の紫外線から皮膚を守るということにも役立っている。

肝臓が弱ると、血液中に、光に鋭敏に反応するポルフィリン体が余計に体内にたまってくる。飲みすぎた翌朝などは、肝臓に相当負担がかかっているので、注意しなければならない。

何れにしても、やりつけない屋外での仕事は、体調を考えたり、身仕度をしっかりとやった上で取りかからなければならない。

そして、仕事が終わったらよく手顔をセッケンで洗っておくこと。また、酢をちょっとたらした水にひたして皮膚面を酸性にしておくのもひと工夫であろう。（生気象学者・かみやまけいぞう）

出題　西山　進

＜問題＞下の絵は上と7カ所のまちがいがあります。どこでしょう。（印刷のよごれやかすれはまちがいにははいりません）答えは3面に。

出題・西山　進

時の問題

首相に権限集中

安保会議と官房新機構が発足

「緊急重大事態」への対策のためとした「安全保障会議」が七月一日、正式に発足しました。また、それに伴って内閣機能を強化するために官房機構の大改革が行なわれました。ねらいは、中曽根首相が強く望んでいた「大統領的首相」の実現。首相への権限の集中です。

安全保障会議は、防衛、警察関係閣僚を柱として〝内閣の中の内閣〟となるもので、国会の権能さえも無視できるような超法規的な権限が首相に集中されるのです。

新しい官房機構の中心は、安全保障会議の事務局である安全保障室。また、外政審議室、内政審議室が新設されました。

新官房のもう一つの目玉が、情報機構の整備です。調査室を情報調査室にして、情報の集中・分析にあたり、広報室を広報官室に改組してマスコミ・世論の管制、操作を強めます。

ところで、新機構の人事で目立つのが、警察官僚の進出ぶりです。まず、安全保障室長が警察庁出身で前防衛施設庁長官の佐々淳氏。警察時代、大学紛争、浅間山荘事件などを指揮、危機管理のベテランといわれています。情報中枢に座る内閣情報調査室長も警察出身の谷口守正氏（前調査室庁）。また、初代広報官が、成田空港警備などで腕をあげた宮脇磊介氏（前皇宮警察本部長）。内閣官房の中枢は、警察官僚がにぎることになるわけです。

現在の内閣は、中曽根首相自身が警察出身。後藤田官房長官は元警察庁長官。文字通り警察主導の内閣で、〝警察国家〟としての体制を固めてきたといえるでしょう。

この新機構の発足に合わせて「合同情報会議」もスタートしました。これは政府の情報機関を総合するもので、ゆくゆくはCIA（米中央情報局）的な機能をめざしているといわれています。

中曽根首相の好きなトップダウン（トップが決めて下に指示する独裁機能）のための機構が整備されてきたわけです。

くらしの知恵

おいしいダシの作り方

干しの頭とハラワタを取り除いてから細かく裂いて、分量の水の中に入れて一晩おきます。うまみがよく出て生臭くなく、朝の汁物や煮物にもすぐ使うことができ、便利です。ただし、水浸時間が長すぎると濁ったり、味が悪くなるので、夏の間は少し酒を入れるようにします。

酢水でにおい消し

魚や肉料理をした後は、手にいやなにおいが残ります。石けんで洗っても消えないときは、洗面器に盃一杯の酢を入れた水で洗うと、においがすっきりと消えます。酢のかわりにレモン汁を使うと、においも取れ、手の手入れにもなります。